

IR University

第 8 回「資本市場とIR シンポジウム」のご案内
～ ESG 今、何が起きているのか、IR担当者が出来ることは ～**ご挨拶**

本年6月1日、コーポレートガバナンス・コードが改訂されました。2015年に当コードが施行されて以降の企業の現状や課題をふまえて、有識者会議メンバーによる議論を経たうえでの改訂です。今回の改訂コードの主要テーマは、資本コストを意識した経営や持合い株式に対する対応です。その背景には、企業経営においてガバナンスに対する意識が希薄であった、ガバナンスへの関心はあるものの資本市場との関係に十分な注意を払ってこなかったことが、問題意識としてあったのではないのでしょうか。

一方、グローバルの市場から見る日本企業の株式はまだ割安といえます。これを打開するには、経営陣の意識改革にもとづくESGに取り組む日本企業の姿勢を、発信することではないかと考えます。

毎年、重要なテーマに注力しながら、新たな問題提起をしております当シンポジウムですが、本年も金融市場の有識者の皆様にお集まりいただき、様々な視点から多くの指摘をいただけるものと思います。そして、例年同様、最後は大討論会で締めくくる予定です。

今回は、以下にご案内いたしますように多数のESGの第一人者が一堂に会します。このような機会は他にありません。是非とも、多くの皆様にご参加いただきたく存じます。

ジェイ・ユーラス・アイアール(株) 代表取締役 岩田 宜子

開催趣旨

以下のようなテーマのもと、企業・投資家双方の立場で議論を深めます。

- ・ ガバナンスの実効性とIRの関係、経営・取締役会とIRの関係
- ・ ESGに対する取り組みの発信、投資家から見るESGの評価、新しい試みの紹介 など

開催概要

日 時：2018 年 9 月 27 日(木)

シンポジウム： 10:00 - 17:00 (9:30 受付開始)

懇親会： 17:10 - 18:30

会 場：青山学院大学・アイビーホール青学会館

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 4 丁目 4 番 25 号

定 員：50 名(誠に恐縮ですが、定員に達し次第締め切らせて頂きます)

参加費用(懇親会費用を含む)：弊社顧客企業* 一人 5,000 円(税別) / その他企業 一人 8,000 円(税別)
*)弊社と現在お取引のあるお客様を対象といたします。

お申込み方法

お申込み：[こちらの参加申込サイト](#)(クリックしてください)から、お申し込みください。
折返し、詳細とご参加費用のお振込みのご案内を致します。

締め切り：2018 年 9 月 25 日(火)まで

問合せ先：ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社

担当： 宮地 ・ 川島

E-mail：ir_university@j-eurusir.com TEL：03-6273-4032(代)

スケジュール(予定)

時間	講演内容	登壇者
10:00～10:10	ご挨拶と本日の主旨	高山 与志子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
10:10～11:00	「経営のサステナビリティと資本市場 ～IRO の役割高まる」	北川 哲雄教授 青山学院大学
11:00～11:45	「経営陣と株式市場を繋ぐ～成長企業の IR、時価総額50億円から3兆円の道」	浜辺 真紀子氏 ヤフー・ジャパン
11:45～12:45	ランチ *昼食のご用意はございませんので、各自でおとりください	
12:45～13:25	「コーポレート・ガバナンスと企業価値」	芳賀沼 千里氏 三菱 UFJ モルガン・スタンレー 証券株式会社 インベストメントリサーチ部
13:25～14:05	「投資家が求めるコーポレートガバナンスと『対話』」	大堀 龍介氏 一般社団法人機関投資家協働 対話フォーラム
14:15～14:55	「投資家の期待するESGと対話」	小野塚 恵美氏 ゴールドマン・サックス・アセット ・マネジメント株式会社
14:55～15:35	「投資家と統合報告～投資家にとって本当に見たいこと」	松原 稔氏 株式会社りそな銀行 アセットマネジメント部
15:45～17:00	大討論会 テーマ:「ESG は、日本企業が再び評価されるキーワード。 その具体的発信内容とは何か」 モデレーター:岩田宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)	上記登壇者 および 近藤 成彦氏
17:10～18:30	懇親会	

<ご参考> 過去4回のIR University 「IRと資本市場シンポジウム」のテーマ

第7回:建設的な「対話」の新たなスタンダードとは

第6回:ESとガバナンス、IRとの融合(コンバージェンス)に向けて

第5回:中長期運用株主を増やすコーポレートガバナンスとIR活動

第4回:IRとガバナンスの大転換期～両コード、伊藤レポートで企業経営はどう変わるか～

北川 哲雄 青山学院大学 国際マネジメント研究科 教授

1981 年より野村総合研究所、モルガン銀行(現 JP モルガン・アセットマネジメント)等でアナリストを経て 2005 年より現職。専門は「コーポレート・コミュニケーション」および「コーポレート・ガバナンス」。環境省 ESG 検討会座長(現任)。

浜辺 真紀子 ヤフージャパン ヤフー株式会社 社長室長 兼 コーポレート エバンジェリスト

JP モルガン証券、トムソン・ファイナンシャル・インベスター・リレーションズ等を経て、2000 年にヤフー株式会社に入社。初の専任者として IR 活動に従事。本年 4 月より、現職。7 月に「ヤフージャパン 市場との対話 20 年間で時価総額 50 億円を 3 兆円に成長させたヤフーの戦略」を上梓。

芳賀沼 千里 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 インベストメントリサーチ部 チーフストラテジスト

1982 年野村證券入社、支店勤務を経て、87 年ロンドン大学経済学部大学院留学、経済修士課程修了後、投資情報部配属。以来一貫して日本株のストラテジーを担当。2010 年 8 月より現職。

大堀 龍介 一般社団法人 機関投資家協働対話フォーラム 理事

1987 年野村證券株式会社入社、海外投資顧問室配属、セルサイド・アナリスト業務に従事。1996 年、JPモルガン運用部門に入社。2009 年運用本部本部長兼CIOに就任。2017 年JPモルガンを退職。経産省「持続的成長への競争力とインセンティブ〜企業と投資家の望ましい関係構築〜(伊藤レポート)」委員。投資家フォーラム運営委員。

小野塚 恵美 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 運用本部スチュワードシップ責任推進室長

2000年ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社入社。多岐にわたる資産運用関連業務を経験後、アジア・パシフィックの運用部チーフ・オペレーティング・オフィサーに就任。2016年9月より、運用本部 スチュワードシップ責任推進室長としてESG(環境・社会・ガバナンス)リサーチ、企業との対話に従事。

松原 稔 株式会社 りそな銀行 アセットマネジメント部 責任投資グループ グループリーダー

1991 年 4 月にりそな銀行入行、年金信託運用部配属。以降、公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部など担当。企業価値分析における ESG 要因研究会委員(-2015.6)、日本サステナブル投資フォーラム運営委員、PRI 日本ネットワークコーポレートワーキンググループ議長、環境省「持続可能性を巡る課題を考慮した投資に関する検討会」委員、持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則運用・証券・投資銀行業務ワーキンググループ共同座長、運営委員。

近藤 成経 青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科博士課程

1988年4月 三共株式会社(現 第一三共株式会社)入社、1998年9月よりIR業務を担当、2007年4月よりIR・株主総会関連業務の責任者を務める。2015年1月に同社を退職後、4月に青山学院大学大学院 国際マネジメント研究 科修士課程(MBAコース)に入学、2017年4月博士課程に進学し現在に至る。

岩田 宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役

米系銀行勤務後 1992 年よりIR業界でのキャリアを開始、1994 年米国IR会社日本代表、その後、日系初のグローバル・IRコンサルティング会社、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を設立し、2001 年代表取締役に就任。東証上場会社表彰選定委員や経産省対内直接投資研究会委員を経験。日本IR学会理事。2016 年IRとガバナンスの分野で博士号(経済)を取得。

**高山 与志子 ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージング・ディレクター 取締役
ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社 代表取締役**

1987 年、メリルリンチ証券投資銀行部門 NY に入社。国内外での資金調達、M&A などのアドバイス。トムソン・ファイナンシャル・インベスター・リレーションズを経て、2001 年、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)。2015 年、ボードルーム・レビュー・ジャパン(株)代表取締役。現在「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」メンバー。